

80

80

ぞうのはな、ながくてつよいといういんしょう。

81

81

たてもののもとを支えるき礎こうじ。

82

82

じてんしゃのパンクをしゅうりする。

83

83

ことばをてきせつにえらんではなす。

84

84

じゅんじょよく並ならんでまつ。

84	83	82	81	80
序	適	修	基	象
順序よく並 <small>なら</small> んで待つ。	言葉を適切に選んで話す。	自転車のパンクを修理する。	建物の基を支える基礎 <small>そ</small> 工事。	象の鼻、長くて強いという印象。

85

もんだいのときかたをかいせつしてもらう。

86

たべもののりょうをへらしてげんりょうする。

87

あのひとはあかるいせいかくだ。

88

てい<sup>か</sup>価のはんがくてバッグをかった。

89

かしかりすることをたいしゃくという。

89	88	87	86	85
貸	額	格	減	解
貸し借りすることを貸借という。	定価の半額でバッグを買った。	あの人は明るい性格だ。	食べ物量を減らして減量する。	問題の解き方を解説してもらう。

90

まずしいひと おかねもちの ひんぷのさ。

91

はしる まえに じゅん備うんどうをする。

92

ぼちに いき せんぞの はかに おまいりする。

93

じぶんが うまれた くにが そこく。

94

めいろに まよい込んで られない。

94	93	92	91	90
迷	祖	墓	準	貧
迷路に迷い込んで出られない。	自分が生まれた国が祖国。	墓地に行き先祖の墓にお参りする。	走る前に準備運動をする。	貧しい人とお金持ちとの貧富の差。

たしかめ

20

名 前

95

げん稿こうのきじゆつにそ沿そっていけんをのべる。

96

てんきはかいせい、かぜも爽さわやかでこころよい。

97

はがきをかきそこない、そんをした。

98

ふねをつくるところがぞうせんじよ。

99

おかねをよせあつめがっこうにピアノをき贈ぞう。

99	98	97	96	95
寄	造	損	快	述
お金 を 寄 せ 集 め 学 校 に 。 ピ ア ノ を 寄 贈 。	船 を 造 る と こ ろ が 造 船 所 。	葉 書 を 書 き 損 な い 、 損 を し た 。	天 気 は 快 晴 、 風 も 爽 や か で 快 い 。	原 稿 の 記 述 に 沿 っ て 意 見 を 述 べ る 。



100

つねに  
あらず。いつもと  
ちが  
違うことが「ひじょう」。

101

お  
おなみを  
ふせぐ  
堤が  
ぼうは堤。

102

し  
よくちゅうどくが  
はっせいした。

103

し  
っぱいを  
せめず  
せきにんは  
みんなで  
とる。

104

窓が  
やぶられ  
は片が  
さん  
らん  
乱している。

104	103	102	101	100
破	責	毒	防	非
窓 <sup>まど</sup> が破 <sup>やぶ</sup> られ破 <sup>へん</sup> 片 <sup>ぺん</sup> が散 <sup>さん</sup> 乱 <sup>らん</sup> している。	失 <sup>しつ</sup> 敗 <sup>ぱい</sup> を責 <sup>せ</sup> めず責 <sup>せ</sup> 任 <sup>にん</sup> はみん <sup>みん</sup> なで取 <sup>と</sup> る。	食 <sup>しょく</sup> 中 <sup>ちゅう</sup> 毒 <sup>どく</sup> が發 <sup>はつ</sup> 生 <sup>せい</sup> した。	大 <sup>だい</sup> 波 <sup>は</sup> を防 <sup>ぼう</sup> ぐ堤 <sup>つみ</sup> が防 <sup>ぼう</sup> 波 <sup>は</sup> 堤 <sup>てい</sup> 。	常 <sup>じょう</sup> に非 <sup>ひ</sup> ず。いっ <sup>い</sup> もと違 <sup>ちが</sup> うこ <sup>こ</sup> とが「非 <sup>ひ</sup> 常 <sup>じょう</sup> 」。

105

きのえだやはをしようともいう。

106

りょうしがぎよせんにのってりょうにでる。

107

ていきあつがちかづきあめが降りだす。

108

まちこうばを経<sup>けい</sup>えいしながらせいかつをいとなむ。

109

せんそうがげんいんでぶつかがあがる。

109	108	107	106	105
価	営	圧	師	枝
戦争が原因で物価が上がる。	町工場を経営しながら生活を営む。	低気圧が近づき雨が降り出す。	漁師が漁船に乗って漁に出る。	木の枝や葉を枝葉ともいう。

110

がつこうのせいふくをきてとうこうする。

111

よくこえてひりょうもいらぬよいはたけ。

112

いまでもきゅうしきのきかいをつかっている。

113

ながれにさからい、ぎやくほうこうにふねをこぐ。

114

むかしからつたわるでんとうぎょうじ。

114	113	112	111	110
統	逆	旧	肥	制
昔から伝わる伝統行事。	流れに逆らい、逆方向に船をこぐ。	今も旧式の機械を使っている。	よく肥えて肥料もいらぬ良い畑。	学校の制服を着て登校する。

115

こむぎこのふんまつねってパンづくり。

116

ゆしゅつ・ゆにゅう、ゆは「はこぶ」といいます。

117

難しいわざを演えんぎにくみ込こみきんメダル。

118

こうどなぎじゅつでロケットをつくる。

119

吹ふきとはぬようにしちゅうをさせえる。

119	118	117	116	115
支	術	技	輸	粉
吹き飛ばぬように支柱を支える。	高度な技術でロケットを作る。	難しい技を演技に組み込み金メダル。	輸出・輸入、輸は「運ぶ」という意味。	小麦粉の粉末練ってパン作り。



124

ほ<sup>ご</sup>護しよくは、みの あんぜんを たもつ ため。

124

123

かぎられた じかんを ゆうこうに つかう。

123

122

賞<sup>しょう</sup>みきげんを たしかめて にくを かう。

122

121

わかれた ともと ふたたび であい さいかいを よろこぶ。

121

120

かたがみをつかって つくる 模<sup>も</sup>けいひこうき。

120

たしかめ

25

名 前

1 2 4	1 2 3	1 2 2	1 2 1	1 2 0
保	効	限	再	型
保護色は、身の安全を保つため。	限られた時間を有効に使う。	賞味期限を確かめて肉を買う。	別れた友と再び出会い再会を喜ぶ。	型紙を使って作る模型飛行機。

129

荒<sup>あ</sup>れちを たがやし こうちに かえた せんぞの どりよく。

129

128

かつこうで ならった ことを いえで ふくしゅうする。

128

127

くるまの おうらいが 激<sup>はげ</sup>しい こくどう。

127

126

ふう婦<sup>ふ</sup>は おっとと つまの かんけい。

126

125

まよいいぬを ほごした。

125

たしかめ

26

名前

1 2 9	1 2 8	1 2 7	1 2 6	1 2 5
耕	復	往	妻	護
荒れ地 <sup>あ</sup> を耕し耕地に変えた先祖の努力。	学校で習ったことを家で復習する。	車の往来が激しい国道 <sup>はげ</sup> 。	夫婦は夫と妻の関係。	迷い犬を保護した。

130

130

こうつうあんぜんのこうしゅうをうける。

131

131

みずからの犯おかしたつみを認みとめ、謝しゃざいする。

132

132

ねんりょうのまきをもやしてゆを沸わかす。

133

133

がつきゅうかいのぎだいをていあんする。

134

134

がつしょうコンクールでぎんしょうになる。

1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1	1 3 0
賞	提	燃	罪	講
合唱コンクールで銀賞になる。	学級会の議題を提案する。	燃料のまきを燃やして湯を沸かす。	自らの犯した罪を認め、謝罪する。	交通安全の講習を受ける。

135

こうていのさくらも咲いてしんがつき。

136

うえのえきにハチこうのとうぞうがある。

137

かいがいとのぼうえきが盛んなにほん。

138

こんなもんだい、やさしいよ。

139

こうじちゅう、こうつうきせいがおこなわれた。

139	138	137	136	135
規	易	貿	銅	桜
工事中、交通規制が行われた。	こんな問題、易しいよ。	海外との貿易が盛んな日本。 <small>さか</small>	上野駅にハチ公の銅像がある。	校庭の桜も咲いて新学期。 <small>さ</small>



144

144

ひとびとを誘<sup>ゆう</sup>どうして あんぜんな  
ばしよに みちびく。

143

143

緊きんちようで  
こころが  
はり詰つめていた。

142

142

ほっぽうりょうどもんだいはみかいけつだ。

141

141

いんそつ<sup>の</sup>せんせい<sup>に</sup>ひきいられてえんそく<sup>。</sup>

140

140

こうつうきそくを まもり あんぜんうんてん。

たしかめ

29

名前

1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1	1 4 0
導	張	領	率	則
人々を誘導して安全な場所に導く。	緊張で心が張り詰めていた。	北方領土問題は未解決だ。	引率の先生に率いられて遠足。	交通規則を守り安全運転。

149

ふじんふくうりばで  
ようふくを  
かった。

149

148

とうりょうらしい  
どうどうたる  
たいど。

148

147

さくらの  
かべんが  
そらにとび  
ちった。

147

146

しいくごやをつくつて  
豚<sup>ぶた</sup>をかう。

146

145

こまかい  
ぶぶんは  
しょうりやくする。

145

たしかめ

30

名前

略	飼	弁	堂	婦
細かい部分は省略する。	飼育小屋を作つて豚 <small>ぶた</small> を飼う。	桜の花弁が空に飛び散った。	頭領らしい堂々たる態度。	婦人服売り場で洋服を買った。

150

わたからつくっためんおりもの。

151

バスがていりゆうじよにとまっている。

152

つみをおかしたはんざいしやは刑務しよでふくえき。

153

けつえきはからだじゆうにさん素をはこぶ。

154

このうたのおんていはそれほどたかくない。

155

ぶきをもってたたかう。

155	154	153	152	151	150
武	程	液	犯	留	綿
武器を持って戦う。	この歌の音程はそれ程高くない。	血液は体中に酸素を運ぶ。	罪を犯した犯罪者は刑務所 <sup>けい</sup> で服役。	バスが停留所に留まっている。	綿から作った綿織物。